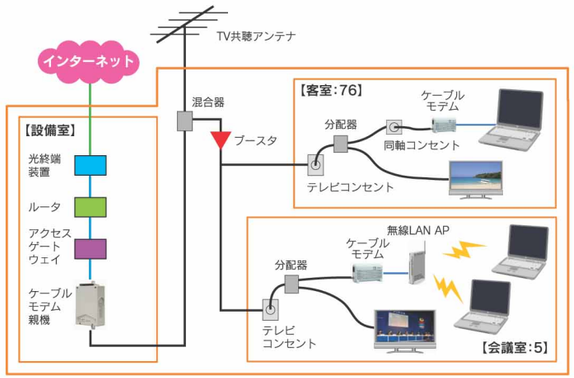
かんぽの宿 那覇レクセンター

テレビ用同軸ケーブルを利用したインターネット接続環境の整備でIT企業の研修を獲得。CS向上も実現！

沖縄という国内有数のリゾート地にありながら、ビジネスでの利用も多いという「かんぽの宿 那覇レクセンター」は今年4月、すべての会議室や客室から快適にインターネット接続できる環境を整備。早くも好評を得ている。



那覇レクセンター システム構成イメージ

郵政民営化にともない、これまで簡易保険加入者の福祉を増進するための施設であった「かんぽの宿」は、昨年10月1日から簡易保険加入・未加入に関わらず、誰でも気軽に利用できるようになった。高齢者や障がい者にも配慮された充実した設備をリーズナブルな料金で利用できるだけに、これから更に人気を呼ぶことは確実であろう。

だが、同時に既存の宿泊施設との競合状況も生まれる。厳しい競争の中で切磋琢磨してきたライバルたちと戦っていくには、設備と価格以外にも付加価値を創造していかなければならない。すなわち、これまで以上にマーケット・ニーズを敏感に察知して、それに応えていく必要がある。

この4月にテレビ用同軸ケーブルを利用し、快適なインターネット接続環境を整備した「かんぽの宿 那覇レクセンター（通称：那覇レク）」は、そのような価値創造の好事例だと言えよう。

ローコストのみならず速度と安定性に魅力

那覇レクは1980年3月、大小体育館やフィットネススタジオ、屋内温水プールなどを備えたスポーツ・レクリエーション施設として開設され、96年12月に宿泊棟が設けられた。"レクセンター"という名称もここに由来する。

設立目的からもうかがえるように、

かんぽの宿 那覇レクセンター
〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-9-15
TEL：(098)862-4740

かんぽの宿の利用目的はほとんどが保養・観光だが、那覇レクの場合は観光の他にビジネスや研修、合宿などでの利用も多い。それだけに、インターネット接続環境を求める声は以前から出ていたが、直接の契機となったのは那覇市内に事業所を開設したばかりのIT企業から大規模な新人教育研修の予約を受けたことであった。

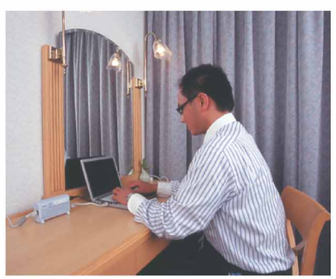
県や市が積極的に企業誘致を進めていることもあって、近年那覇市内にはIT企業やコールセンターが数多く進出している。こうした企業にとってインターネットは血流のようなもので、それ無しにビジネスは成り立たない。当然、研修にもインターネットは不可欠なのである。

ところが、沖縄にはインターネット環境が整っている研修施設はまだほとんど無い。前述のIT企業も困ってしまい、市の企業誘致課と相談して話を持ち込んだのが那覇レクだった。この話を受け、直ぐに本社（日本郵政株式会社 宿泊事業部）に相談したところ、全国の先駆けとして実施することに決定し、研修の予約を受けたのが昨年10月。そこからどのようなシステムを導入するのか具体的な検討に入ったという。

「宿から出ていた条件は工期。4月2日から研修に入るので、少なくとも会議室への導入は3月中に完了したいということでした。あとは、施工期間中も客室営業は継続する、施工の際も極力騒音を抑える、また、お客様だけでセッティングできる簡単なシステムにして欲しいなどの要望もあがっていました」と宿泊事業部の鹿野広明主任は振り返る。これらに導入コストの抑制という条件を加えて一般競争入札を行なったところ、システムインテグレーターとして選ばれたのがNECネッツエスアイであった。

モデムにAP（アクセスポイント）を接続し、無線LANでアクセス。（那覇レク 会議室にて）

同社が提案したのは、新たにLAN回線を敷設するのではなく、既設のテレビ用同軸ケーブルを利用したLANの構築。客室、ロビー、会議室、事務所など館内各所に配線済みのテレビ用同軸ケーブルを利用するので、大規模な施工は不要。客室内でも分配器と同軸コンセントを設置するだけなので、チェックアウト／インの間に完了できる。工期も短くて済むし、騒音も出ない。当然コスト面でも有利であることは論を待たない。


モデムは全部で28台を用意。デスクに設置された同軸コンセントにモデムをつなぎ、あとはPCとモデムをつなぐだけ。（那覇レク 客室にて）

それでいて、物理速度200Mbpsという速度と安定性を備えているうえ、同時にテレビも見られるところが決め手となった。

「もちろんコスト面でのメリットも大きかったのですが、それ以上にシステムの安定性や利用者の立場に立った使い勝手の良さに魅力を感じました」と同宿泊事業部の松下真喜雄主任は語る。

早くも研修のリピート需要開拓に威力を発揮

実際、工期は驚くほど短かった。NECネッツエスアイに決定したのが今年2月29日。打ち合わせの後、同社の担当者が事前調査のため那覇レクを訪れたのが3月17～18日。24日から着工し、会議室の施工は28日に完了。その後、客室での施工にとりかかり、4月下旬には全て完了した。インテグレーター決定から2ヵ月足らずで会議室5室、客室76室のLANを構築したのである。

「その分、予約状況とのにらめっこでした。特に長期宿泊のお客様の部屋をいつ施工するか。NECネッツエスアイさんと細かく話し合いながら進めていきました」（田中宏 総支配人）

導入システムは、会議室では設置したケーブルモデム経由での無線LAN。研修では32台のPCが同時に接続したが、何の問題もなかったという。客室にはモデムを常設せず、利用希望者にフロントで貸し出す。宿泊者自身がデスクに設置してある同軸コンセントとモデムをつなげば、PC側で特別な設定をすることなくインターネットに接続できる。まさに"プラグ&プレイ"のシンプルさだ。

利用希望者にモデム一式を貸し出す。利用料金は無料。奥にいるのが導入を担当した平田主任。（那覇レク フロントにて）

「最初はNECネッツエスアイさんに用意していただいた取扱説明書を付けようかと思っていたのですが、フロントの説明だけでお客様は理解されているようです」と語るのは、那覇レクで導入を担当した平田勇次主任。客室からも接続できるようになって、これまでロビーに1台だけあったインターネット端末の順番待ちも解消。CSも確実に向上している。

徐々にインターネット利用客も増えており、今後ホームページなどでのアピールも考えている。導入のきっかけになったIT企業からは、今年中にもう一度研修で利用したいという打診を受けているという。今般の投資に対するリターンが早くも現れているわけだ。

那覇レクの事例は、既設のビジネスホテルや観光地のホテル・旅館にとっても大いに参考になるだろう。

お問い合わせ
NEC NECネッツエスアイ
NECネッツエスアイ株式会社
SI&サービス事業本部 情報ネットワークソリューション事業部
ネットワークシステム部
TEL：(03)5463-7612/E-mail：plc-info@ml.nesic.com